

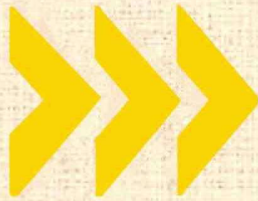
# 建設DX 雲南県組みでの



## スマホ(zoom)を利用した現場との交信



離れている場所からでも、現場の状況を確認出来るようになり、現場に行く時間や待ち合わせをする時間が無くなります。



## ドローンが災害などの調査に活躍

災害箇所へ直接人が近づき調査を行う為、常に危険を伴うものでしたがドローンを使うことで離れた場所から操作できる為、安全に行うことができます。

今までは  
作業員が4~5名  
必要でした



精度の高い  
現況図面を  
自動で作成  
できます



ドローンの  
講習会を  
受けています





## GPSを活用したマシンコントロール

これまで斜面の堀削や盛土の締固めなどは、建設機械を操縦するオペレーターの熟練した技術が必要でしたが、機械の位置や走行経路をGPSで操作・管理することにより、経験の浅い操縦者でも正確な施工が可能となりました。



## リモートコントロールシステムを用いた現場立会

これまでは構造物等の基準の高さの確認は2人がかりで行っていましたが、位置情報を読み取るシステム端末の使用により1人でも確認ができるようになり、現場立会の省人数化につながっています。



## 建設DXとは？

デジタルトランスフォーメーションの略称。  
AI(人工知能)やICT、IoTをはじめとするデジタル技術を取り入れ、計画や設計、施工などの各段階で行うことによって、建設業界の少人数化や迅速化、高度化に役立てることで。